# 目　次


## I　『源氏物語』宇治十帖の記憶

第一章　宇治十帖の表現位相――作者の時代との交差――……3
一　はじめに……3
二　『紫式部日記』との対置……4
三　明石中宮方と彰子中宮方の上﨟女房……20
四　明石中宮の決断……30

第二章　匂宮三帖と宇治十帖――回帰する〈引用〉・継承する〈引用〉――……47
一　はじめに――宇治十帖の始発……47
二　竹河巻の蔵人少将――密通不首尾の引用機構……51
三　宇治の大君・中の君形象の方法……54
四　薫の想い――幻想の恋着……59
五　方法としての浮舟物語……63
六　おわりに――円環の終結……76

第三章　宇治十帖の執筆契機――繰り返される意図――……91

一　はじめに……91
二　『紫式部日記』寛弘六年の記事欠脱……93
三　末摘花巻の位相……101
四　宇治十帖の位相……113
五　おわりに……127
第四章　夕霧巻と宇治十帖――落葉の宮獲得の要因――……139
一　はじめに……139
二　夕霧の恋／薫の恋――心象風景論……141
三　柏木／八の宮――遺言論……153
四　三条宮／六条院――居住論……159
第五章　夕霧の子息たち――姿を消した蔵人少将――……177
一　はじめに……177
二　椎本巻の官名列挙……179
三　夕霧巻々末との対照……189

## Ⅱ　後期物語の記憶

第一章　後期物語創作の基点――紫式部のメッセージ――……209
一　はじめに……209
二　『更級日記』の「荻の葉」と「笹原」……211
三　紫式部のメッセージ……220



四　『花桜折る中将』の「あたら夜の」歌……224
第二章　挑発する『寝覚』『巣守』の古筆資料――絡み合う物語――……235
一　はじめに……235
二　『寝覚』中間欠巻部――広沢での逢瀬と別れ――……236
三　『寝覚』末尾欠巻部――「しらかはの院」での幽閉と脱出――……243
四　『巣守』の「しらかはの院」……249
五　おわりに……254
第三章　『狭衣物語』の位相――物語と史実と――……261
一　はじめに……261
二　継子譚としての飛鳥井君物語……262
三　今姫君入内騒動と養女譚……268
四　女二の宮密通事件から王権譚へ……277
第四章　主人公となった「少将」――古本『住吉』の改作は果たして一条朝初期か――……291
一　はじめに……291
二　稲賀説の行方……292
三　広本系『住吉』の「蔵人少将」……293
四　古本『住吉』から『源氏物語』へ……297
五　古本『住吉』と『狭衣物語』……301
六　小一条院詠の存在……306
七　「四位少将」は伊周か……312

第五章　物語の事実性・事実の物語性――道雅・定頼恋愛綺譚――……325
一　はじめに……325
二　道雅の恋……328
三　出奔する女……336
四　定頼の恋……341
五　おわりに……352

## Ⅲ　道長・頼通時代の記憶

第一章　生き残った『枕草子』――大いなる序章――……363
一　はじめに……363
二　源高明の子、俊賢と経房……365
三　高明の孫、隆国……370
第二章　藤原摂関家の家族意識――上東門院彰子の場合――……383
一　はじめに……383
二　中宮彰子の猶子敦康親王……384
三　後一条・後朱雀両天皇の母后彰子……393
四　頼通・教通兄弟の確執と姉女院彰子……399
五　おわりに……404
第三章　その後の道綱……411
一　はじめに……411
二　左近衛少将から右近衛大将へ……412
三　異母弟道長との関係……421
第四章　大納言道綱女豊子について――『紫式部日記』成立裏面史――……443
一　はじめに……443
二　『紫式部日記』のもう一つの意図……443
三　宰相の君豊子と紫式部……448
四　敦成・敦良両親王の乳母……455
五　東三条院詮子から道長正室倫子へ……465
六　おわりに……476
第五章　『栄花物語』の記憶――三条天皇の時代を中心として――……483
一　はじめに……483
二　妍子と娍子の立后……486
三　禎子内親王誕生……495
四　三条天皇退位……503
第六章　道長・頼通時代の受領たち――近江守任用――……519
一　はじめに……519
二　摂政藤原兼家と左大臣源雅信……520
三　家司受領源高雅と藤原惟憲……525
第七章　大宰大弐・権帥について……539
一　はじめに……539

二　物語の中の大弐・権帥……540
三　大弐藤原有国……546
四　権帥藤原隆家……552
五　大弐源資通……559
第八章　王朝歌人と陸奥守……575
一　はじめに……575
二　陸奥守源信明と中務……577
三　陸奥守藤原実方と清少納言……579
四　陸奥守橘為仲と四条宮主殿……588
五　おわりに……595
［付載］　頼宗の居る風景――『小右記』の一場面――……603
初出一覧……611
あとがき……615